



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス
コード番号 3591 URL <http://www.wacoalholdings.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 能交

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 宮城 晃

TEL 075-682-1010

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	46,010	△4.9	3,268	△38.6	4,702	△19.4	3,023	△18.6
26年3月期第1四半期	48,400	11.6	5,323	35.1	5,836	48.8	3,716	35.0

(注) 四半期包括利益 27年3月期第1四半期 5,624百万円 (△35.8%) 26年3月期第1四半期 8,759百万円 (507.4%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	21.46	21.41
26年3月期第1四半期	26.38	26.33

(注) 5ページ 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更 に記載の通り、平成26年3月期第1四半期については、遡及的に調整しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	274,244	208,436	205,993	75.1	1,462.62
26年3月期	271,988	207,536	205,106	75.4	1,456.32

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	33.00	33.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	100,000	1.5	8,500	△11.2	10,000	△0.7	6,700	4.1	47.57
通期	196,000	1.1	13,500	△2.6	15,400	2.4	10,500	3.9	74.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

(注)詳細は、5ページ 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更 をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	143,378,085 株	26年3月期	143,378,085 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	2,539,522 株	26年3月期	2,539,371 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	140,838,676 株	26年3月期1Q	140,844,045 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。これらのリスクや不確実性、その他の要因は以下のものを含みますが、これらに限られるものではありません。

- ・経済環境の悪化により国内市場及び海外市場の景気が低迷し当社の業績が悪化するリスク
- ・国内の百貨店、量販店及びその他一般小売店の業績不振や営業政策の変更によって当社が影響を受けるリスク
- ・消費者の嗜好を的確に予測しそれに応える能力及び高品質な商品を提供する能力が期待される成果を生み出さないリスク
- ・激しい市場競争により当社の販売シェアや利益率が低下するリスク
- ・直営店事業ネットワークの拡大が売上や利益の拡大につながらないリスク
- ・WEB販売の強化による売上増加が達成できないリスク
- ・販売不振による在庫の増加が業績を悪化させるリスク
- ・コスト削減が成功せず利益が減少するリスク
- ・有能な人材確保ができず人材が不足するリスク
- ・季節の天候不順の影響により業績が悪化するリスク
- ・海外事業に関連して増加するリスク
- ・買収及びその他第三者との戦略的提携等の成否に関するリスク
- ・新市場の開拓における投資の回収に関するリスク
- ・知的財産権に関連するリスク
- ・情報システムに関するリスク
- ・個人情報保護や当社の機密保持に関するリスク
- ・内部統制に関連するリスク
- ・有価証券に関連するリスク
- ・自然災害、疫病の発生等に関するリスク

これらの詳細については、当社の有価証券報告書をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書	P. 8
(3) 四半期連結包括損益計算書	P. 8
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10
(6) 販売の状況	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

①当第 1 四半期の業績

当社グループでは3カ年中期経営計画（2013～2015年度）の2年目を迎え、主力事業会社である株式会社ワコールを中心に、多様化する国内レディスインナー市場への対応による売上シェアの拡大と、レディスインナー事業以外の事業体制整備、また海外事業の積極的な展開による成長力・収益力強化に取り組みました。

これらの結果、当社グループの当第 1 四半期の連結業績は、円安によって海外事業の売上高が嵩上げされたものの、国内事業における消費税増税後の需要の落ち込みが大きく、全体の売上高は前年同期を下回りました。利益面でも、売上高が減少したことや、売上利益率が低下したことなどにより前年同期を下回りました。

●売上高	460億10百万円	（前年同期比	4.9%減）
●営業利益	32億68百万円	（前年同期比	38.6%減）
●税引前四半期純利益	47億02百万円	（前年同期比	19.4%減）
●当社株主に帰属する四半期純利益	30億23百万円	（前年同期比	18.6%減）

②オペレーティング・セグメントの営業概況

a. ワコール事業（国内）

株式会社ワコールのワコールブランド事業本部につきましては、駆け込み需要の反動が大きかったことに加え、天候不順の影響もあり、期間を通じて売上は苦戦しました。ナイトウェアやシルバー向け商品など、一部の商品は堅調に推移したものの、夏物ブラジャーが低調であったことなどから全てのチャネルにおいて店頭売上は回復せず、ワコールブランド事業本部全体の売上は前年同期を下回りました。

ウイングブランド事業本部につきましては、主力アイテムのブラジャーにおいて欠品が発生したことや、広告投下時期を変更したことが影響し、厳しい商況となりました。メンズインナーのシニア向け機能性商品や、ナイトウェア、ティーン向けインナーなど、好調に推移した商品群もありましたが、一般的に消費税増税後の反動減が大きく、ウイングブランド事業本部全体の売上は前年同期を大きく下回りました。

小売事業本部につきましては、直営店「AMPHI（アンフィ）」が、店舗数が増えたことや、増税後の客数減少を想定した客単価向上策が功を奏したことにより、順調に推移しました。一方、駆け込み需要が大きかったアウトレットモールで展開する「ワコールファクトリーストア」や主にワコールブランド商品を扱う「ワコール・ザ・ストア」は苦戦しました。これらの結果、小売事業本部全体の売上は前年同期並みとなりました。

ウエルネス事業部につきましては、ビジネスパンプスなどを中心に、新製品の投入が進んだものの、スポーツコンディショニングウェア「CW-X（シーダブリューエックス）」をはじめ、主力商品の店頭販売が低調に推移し、全体の売上は前年同期を下回りました。

通信販売事業部につきましては、インターネット販売が、3月末に発生した不正アクセスによるサイト閉鎖の影響を受けたほか、カタログ販売についても、夏号カタログの投下時期が消費税増税後であったため低調に推移し、全体の売上は前年同期を大きく下回りました。

このように、一般的に消費税増税後の落ち込みが大きく、主力事業会社ワコールの売上が前年を下回ったことにより、ワコール事業（国内）セグメント全体の売上高は前年同期を下回りました。利益面につきましても、株式会社ワコールにおいて、販管費の抑制に努めたものの、売上高の減少とともに、海外生産における加工賃上昇等による売上利益率の低下が影響し、営業利益は前年同期を大きく下回りました。

●売上高	267億19百万円	（前年同期比	8.6%減）
●営業利益	16億91百万円	（前年同期比	48.9%減）

b. ワコール事業（海外）

米国ワコールは主力販売チャネルである百貨店に向けた商品力の向上や、販売地域、チャネルの拡大に取り組みました。売上面では、主力であるワコールブランドの米国内売上が苦戦したものの、シンプルなデザインが特色の『b. tempt'd（ビー・テンプテッド）』ブランドやインターネット販売、カナダ事業が好調に推移しました。為替が円安に振れたこともあり、全体の売上は前年同期を上回りました。利益面では、売上の増加に伴い、営業利益が前年同期を上回りました。

中国ワコールにつきましては、収益性の改善や、中間層市場への浸透に取り組みました。売上は、景気が減速していることや、現政権による腐敗防止策強化の影響で富裕層の消費意欲が減退したことから、現地通貨ベースで前年同期を下回りました。一方、拡大する中間層向けのブランド『LA ROSABELLE（ラ・ロッサベル）』が順調に出店を増やしていることや、インターネット販売、アウトレットなどが伸ばしたことが下支えとなりました。利益面では、現地材料調達比率が拡大したことや、粗利益率の高いチャネルでの販売構成比が高まったことから売上利益が拡大し、不採算店舗撤退に伴う人員減なども寄与したため、営業利益が前年同期を上回りました。

ワコールイヴィデンにつきましては、グループ内の事業シナジー発揮による売上の拡大に取り組みました。欧州におけるワコールブランド商品の販路拡大は順調にスタートしましたが、英国及び米国では、景気回復の遅れにより、百貨店チャネルを中心に店頭売上が苦戦しました。また、欧州では、特に水着の新製品投入が低調に推移しました。これらによって、売上は現地通貨ベースでは前年同期を下回ったものの、円安のため、邦貨換算ベースでは前年同期を上回りました。利益面では、ワコールブランド拡販に向けた事業体制の変更に係る費用を計上したことなどから、営業利益が前年同期を下回りました。

これらの結果、ワコール事業（海外）セグメント全体の売上高は前年同期を上回りましたが、営業利益は前年同期を下回りました。

●売上高	1 2 6 億 7 0 百万円	（前年同期比	5. 6%増）
●営業利益	1 8 億 2 2 百万円	（前年同期比	7. 0%減）

c. ピーチ・ジョン事業

主力の通信販売は、ウェブサイトの機能改善の効果もあって来訪者が増えたものの、消費税増税の影響から購買率が低迷し、前年同期を下回りました。国内直営店は、新業態店舗「YUMMYMART（ヤミーマート）」の出店により店舗数が増えたことなどにより、前年同期を上回りました。また、海外直営店につきましては、香港では客数が増加したことによって好調に推移しましたが、中国では前年同期並みとなりました。これらの結果、ピーチ・ジョン事業セグメント全体の売上高は前年同期を下回りました。利益面では、円安の影響を受け原価率が上昇したことや、消費税増税後の購買喚起策として割引販売が増えたことから、営業損失となりました。

●売上高	2 8 億 4 4 百万円	（前年同期比	7. 4%減）
●営業損失	8 6 百万円	（前年同期は営業利益	8 0 百万円）

d. その他

株式会社ルシアンにつきましては、主力のインナーウェアを展開するインナー事業部は、大手得意先への納品が復調しましたが、アウターウェアを展開するアパレル事業部において、通販チャネルでの売上が落ち込んだことなどにより、ルシアン全体の売上は前年同期を下回りました。利益面については、売上の減少により営業損失となりました。

マネキンの製造販売やレンタル、商業施設の設計や施工を行う株式会社七彩につきましては、物販事業および工事事業の売上が、消費税増税後の消費低迷を見越した取引先企業の発注抑制により、前年同期を大きく下回りました。利益面については、これに伴い営業損失となりました。

●売上高	37億77百万円	(前年同期比 7.9%減)
●営業損失	1億59百万円	(前年同期は営業損失 26百万円)

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債、株主資本等の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び現金同等物や投資有価証券評価額の増加などにより、前連結会計年度末に比して22億56百万円増加し、2,742億44百万円となりました。

負債の部は、繰延税金負債のほか、その他の流動負債が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して13億56百万円増加し、658億8百万円となりました。

株主資本は、為替換算調整勘定や未実現有価証券評価損益の増加などにより、前連結会計年度末に比して8億87百万円増加し、2,059億93百万円となりました。

以上の結果により、当第1四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して0.3%減少し、75.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して15億63百万円増加し、322億21百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益31億12百万円に減価償却費や繰延税金などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、54億40百万円の収入（前年同期に比し59億4百万円の収入増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、絵画の売却収入などにより、9億30百万円の収入（前年同期に比し31億50百万円の収入減）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより、47億11百万円の支出（前年同期に比し9億43百万円の支出増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想数値につきましては、平成26年5月13日発表時から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更

(子会社の決算期変更)

前連結会計年度より、一部の連結子会社について、従来の決算日から当社の決算日である3月31日に変更しております。これに伴い、平成26年3月期第1四半期の四半期連結損益計算書、四半期連結包括損益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報、販売の状況を遡及的に調整しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)	増減金額
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	30,658	32,221	1,563
定期預金	2,168	1,560	△ 608
有価証券	3,523	3,572	49
売掛債権	26,269	22,849	△ 3,420
返品調整引当金及び貸倒引当金	△ 2,321	△ 2,516	△ 195
たな卸資産	40,211	41,346	1,135
繰延税金資産	4,848	4,152	△ 696
その他の流動資産	4,132	5,428	1,296
流動資産合計	109,488	108,612	△ 876
II. 有形固定資産			
土地	21,994	21,930	△ 64
建物及び構築物	63,024	62,919	△ 105
機械装置及び工具器具備品等	15,446	15,795	349
建設仮勘定	147	124	△ 23
	100,611	100,768	157
減価償却累計額	△ 51,633	△ 51,985	△ 352
有形固定資産合計	48,978	48,783	△ 195
III. その他の資産			
関連会社投資	18,894	18,934	40
投資	45,951	48,463	2,512
のれん	22,723	23,154	431
その他の無形固定資産	13,688	13,707	19
繰延税金資産	1,008	1,008	0
その他	11,258	11,583	325
その他の資産合計	113,522	116,849	3,327
資産合計	271,988	274,244	2,256

科 目	前連結会計年度	当第1四半期連結会計期間	増減金額
	(平成26年3月31日)	(平成26年6月30日)	
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動負債			
短期借入金	16,630	16,945	315
買掛債務			
支払手形	1,064	1,272	208
買掛金	10,657	11,004	347
未払金	5,764	4,294	△ 1,470
	17,485	16,570	△ 915
未払給料及び賞与	7,085	5,565	△ 1,520
未払税金	1,224	610	△ 614
その他の流動負債	4,184	7,545	3,361
流動負債合計	46,608	47,235	627
II. 固定負債			
退職給付に係る負債	1,795	1,758	△ 37
繰延税金負債	13,611	14,650	1,039
その他の固定負債	2,438	2,165	△ 273
固定負債合計	17,844	18,573	729
負債合計	64,452	65,808	1,356
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,587	29,599	12
III. 利益剰余金	151,468	149,843	△ 1,625
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	2,310	3,169	859
未実現有価証券評価損益	11,606	13,295	1,689
年金債務調整勘定	△ 227	△ 275	△ 48
V. 自己株式	△ 2,898	△ 2,898	△ 0
株主資本合計	205,106	205,993	887
VI. 非支配持分	2,430	2,443	13
資本合計	207,536	208,436	900
負債及び資本合計	271,988	274,244	2,256

(2) 四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)		増減金額
	百万円	%	百万円	%	
I. 売上高	48,400	100.0	46,010	100.0	△ 2,390
II. 営業費用					
売上原価	21,439	44.3	20,982	45.6	△ 457
販売費及び一般管理費	21,638	44.7	21,760	47.3	122
営業費用合計	43,077	89.0	42,742	92.9	△ 335
営業利益	5,323	11.0	3,268	7.1	△ 2,055
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	18		28		10
支払利息	△ 30		△ 27		3
受取配当金	437		482		45
有価証券・投資有価証券売却 及び交換損益(純額)	36		1		△ 35
有価証券・投資有価証券 評価損益(純額)	△ 48		△ 0		48
絵画売却益	—		1,059		1,059
その他の損益(純額)	100		△ 109		△ 209
その他の収益・費用合計	513	1.1	1,434	3.1	921
税引前四半期純利益	5,836	12.1	4,702	10.2	△ 1,134
法人税等	2,339	4.9	1,777	3.8	△ 562
持分法による投資損益調整前 四半期純利益	3,497	7.2	2,925	6.4	△ 572
持分法による投資損益	303	0.7	187	0.4	△ 116
四半期純利益	3,800	7.9	3,112	6.8	△ 688
非支配持分帰属損益	△ 84	△ 0.2	△ 89	△ 0.2	△ 5
当社株主に帰属する四半期純利益	3,716	7.7	3,023	6.6	△ 693

(3) 四半期連結包括損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)		増減金額
	百万円		百万円		
I. 四半期純利益	3,800		3,112		△ 688
II. その他の包括損益 — 税効果調整後					
為替換算調整勘定	3,347		869		△ 2,478
未実現有価証券評価損益	1,555		1,695		140
年金債務調整勘定	57		△ 52		△ 109
その他の包括損益 合計	4,959		2,512		△ 2,447
四半期包括損益	8,759		5,624		△ 3,135
非支配持分帰属四半期包括損益	△ 137		△ 101		36
当社株主に帰属する四半期包括損益	8,622		5,523		△ 3,099

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	(自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日)	(自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 6月30日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益	3,800	3,112
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	1,218	1,367
(2)返品調整引当金及び貸倒引当金	320	196
(3)繰延税金	444	779
(4)固定資産除売却損益	0	△ 25
(5)絵画売却益	—	△ 1,059
(6)有価証券・投資有価証券売却及び交換損益	△ 36	△ 1
(7)有価証券・投資有価証券評価損益	48	0
(8)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	338	397
(9)資産及び負債の増減		
売掛債権の減少(△増加)	△ 632	3,445
たな卸資産の増加	△ 1,267	△ 1,137
その他の流動資産等の増加	△ 1,250	△ 1,756
買掛債務の減少	△ 1,194	△ 714
退職給付に係る負債の減少	△ 217	△ 392
その他の負債等の増加(△減少)	△ 2,158	1,196
(10)その他	122	32
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 464	5,440
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加額	△ 73	△ 374
2. 定期預金の減少額	500	966
3. 有価証券の売却及び償還収入	932	106
4. 有価証券の取得	△ 103	—
5. 絵画の売却収入	—	1,275
6. 有形固定資産の売却収入	31	164
7. 有形固定資産の取得	△ 491	△ 844
8. 無形固定資産の取得	△ 243	△ 262
9. 投資の売却収入	3,775	—
10. 投資の取得	△ 251	△ 108
11. 子会社株式の追加取得	—	△ 1
12. その他	3	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,080	930
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増加額	480	274
2. 長期債務の返済	△ 248	△ 250
3. 自己株式の取得	△ 1	△ 0
4. 当社株主への配当金支払額	△ 3,944	△ 4,648
5. 非支配持分への配当金支払額	△ 55	△ 87
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,768	△ 4,711
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	292	△ 96
V. 現金及び現金同等物の増減額	140	1,563
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	24,514	30,658
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	24,654	32,221

補足情報

現金支払額		
利息	29	27
法人税等	5,230	2,548
現金支出を伴わない投資活動		
固定資産の取得価額	438	352

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① オペレーティング・セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	29,225	12,002	3,070	4,103	48,400	—	48,400
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	511	2,042	114	1,339	4,006	△ 4,006	—
計	29,736	14,044	3,184	5,442	52,406	△ 4,006	48,400
営業利益(△損失)	3,310	1,959	80	△ 26	5,323	—	5,323

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	26,719	12,670	2,844	3,777	46,010	—	46,010
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	435	2,132	160	1,162	3,889	△ 3,889	—
計	27,154	14,802	3,004	4,939	49,899	△ 3,889	46,010
営業利益(△損失)	1,691	1,822	△ 86	△ 159	3,268	—	3,268

(注) 各事業の主な製品

ワコール事業(国内)	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レッグニット他
ワコール事業(海外)	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レッグニット他
ピーチ・ジョン事業	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、その他繊維関連商品他
その他	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、その他繊維関連商品、マキソ人形、店舗設計・施工他

② 地域別情報

前第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	36,256	3,870	8,274	48,400
構成比	74.9%	8.0%	17.1%	100.0%
営業利益	3,354	332	1,637	5,323

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	33,240	4,165	8,605	46,010
構成比	72.2%	9.1%	18.7%	100.0%
営業利益	1,420	537	1,311	3,268

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・オセアニア: 東アジア、東南アジア及び西アジア諸国、オーストラリア

欧米: 北米及びヨーロッパ諸国

3. 売上高は連結会社を所在地別に分類したものであります。

(6) 販売の状況

製品の種類		前第1四半期 自平成25年4月1日 至平成25年6月30日		当第1四半期 自平成26年4月1日 至平成26年6月30日		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
インナーウェア	ファンデーション ・ランジェリー	36,230	74.9	34,278	74.5	△ 1,952	△ 5.4
	ナイトウェア	2,597	5.4	2,613	5.7	16	0.6
	リトルインナー	492	1.0	420	0.9	△ 72	△ 14.6
	計	39,319	81.3	37,311	81.1	△ 2,008	△ 5.1
アウターウェア ・スポーツウェア等		4,129	8.5	3,957	8.6	△ 172	△ 4.2
レッグニット		591	1.2	668	1.4	77	13.0
その他繊維製品 及び関連製品		2,223	4.6	2,060	4.5	△ 163	△ 7.3
その他		2,138	4.4	2,014	4.4	△ 124	△ 5.8
合計		48,400	100.0	46,010	100.0	△ 2,390	△ 4.9